

シルバー北見

138号
2023・1

■令和5年1月1日発行 ■(公社)北見市シルバー人材センター広報委員会 〒090-0836 北見市東三輪5丁目1-16 ☎0157-23-6000



門松造り 今年こそその安寧を込めて

写真提供 北見柏松園さん

●会員登録数

単位：人

	9 月			10 月			11 月		
	入 会	退 会	月末現在	入 会	退 会	月末現在	入 会	退 会	月末現在
男	4	0	543	4	1	546	1	1	546
女	2	2	180	0	0	180	0	2	178
計	6	2	723	4	1	726	1	3	724

働くよろこび、社会参加の輪を広げよう



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます
会員の皆様には爽やかな新春を迎えられたことと
心からお慶び申し上げます

理事長 大矢根 洋 哉



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、爽やかな輝かしい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

また日頃から、当シルバー人材センターの趣旨、目的をご理解いただきご協力とご支援をいただいておりますことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスは次々と形態を変え、対応するためのワクチン接種も5回目に至っておりますが、いまだに終息は見えない状況にあります。この状況下、国は全国旅行支援策をスタートさせ国内の移動や外国人の入国も緩和されて、大きな転換期を迎えています。このまま収束に向かい以前のように旅行や飲食、会合等を自由に行うことができるようになることを切に願うものです。

当センターの事業状況では、新型コロナの影響で過去2年間就業も大きく制限されていましたが、昨年度は公共事業の就業が回復し、草取り、草刈、剪定といった屋外業務が順調に推移し、一昨年度より受注額が増加という結果となりました。ただ会員数は引き続き減少が続いており、会員数の回復にはまだ時間がかかりそうです。早く安心して本来の就業ができる日が来ることを心より念じております。当センターの順調な運営は皆さんの地道に一生懸命に頑張っている仕事ぶりが、市民の皆様や、市役所、企業などから信頼と評価をいただいたものであります。

令和5年の年頭にあたり、会員の皆様には、健康で働く喜びを感じながら幸せな生活が送れますよう、また会員並びにご家族の皆様のご健勝と当センターの更なる発展が図られますよう、心からご祈念申し上げます。

あけましておめでとうございます

(順不同・敬称略)

監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副理事長	副理事長	理事長
佐藤	西田	片岡	三好	梅田	神尾町	伊東	前田	河合	上村	丸錢	高橋	水谷	中	中	詫間	伝法谷	大矢根
政	勝	敏	長	幸	武	邦	邦	宏	信	達	健	としい	寛	寛	敏	正	洋
代	雄	昭	俊	夫	正	裕	男	之	博	司	一		良	晴	治	哉	

(公社)北見市シルバー人材センター役員



年頭にあたって

新年あけましておめでとうございます
皆様方にはお健やかに新春を迎えられたましたことと
心からお慶び申し上げます

北見市長 辻 直 孝



あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。

北見市シルバー人材センターにおかれましては、健康で働く意欲のある中高年齢者の方々が、長年培われてきた豊かな知識や経験を生かし活躍され、市民の皆様から親しまれ発展されてこられましたことに、敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます次第であります。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、社会経済活動を維持しつつ、感染拡大防止に取り組み動きが強まっております、皆様におかれましては、日々の活動において、ご理解とご協力を賜っておりますことに、重ねまして感謝を申し上げます。

さて、労働者を取り巻く環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、さらに物価高騰など企業活動に大きな影響を及ぼしており、さらに、全国的にも労働力不足が課題となる中で、地域経済を活性化するためには、中高年齢者が持つ貴重な能力を活用することは、大変、重要な要素の一つといわれております。

市といたしましては、柔軟な働き方に取り組みやすい環境の整備を推進し、中高年齢者の皆さまが、生きがいを持ち、日々、元気で活躍いただくことが重要と考えており、貴センターにおかれましては、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、引き続き、中高年齢者の就労機会の拡大や生きがいと活力あるまちづくりの推進にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます次第であります。

結びに、貴センターの益々のご発展と、本年が会員の皆様方にとりまして、幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

あけましておめでとうございます

(順不同・敬称略)

賛助会員(社名)

- 五十嵐建設株式会社
- 有限会社 今泉造園
- 岡村建設株式会社
- オホーツク美装興業株式会社
- 株式会社 北見ゴルフ倶楽部
- 北見商工会議所
- 北見信用金庫三輪支店
- 北見スズキ株式会社
- 北見トヨペット株式会社
- 有限会社 北見ユニティ
- 小林株式会社
- 株式会社 小柳中央堂
- 株式会社 ホテル黒部
- 有限会社 サンケイプリント社
- 株式会社 高木園芸
- 株式会社 東部第一
- 株式会社 日専連ニッコーレーション
- 長谷川機械店
- 株式会社 ハリカ北見店
- 株式会社 ベルコ北見支社
- 株式会社 山中電器
- 株式会社 緑進
- 株式会社 レンタル屋
- 株式会社 北見教材厚生部
- 株式会社 伝書鳩
- i d デザインオフィス



新年にあたって

希望に満ちた新年を迎えられた会員の皆様に
謹んで新春のご挨拶を申し上げます

シルバー互助会会長 十 河 暢 明



新年あけましておめでとうございます。

様々な話題、問題が多かった2022年が暮れてゆきま
した。

特に、ロシアのウクライナ侵攻は、毎日のように新聞、
TVに登場し、戦争の残酷性、非情性を嫌と言う程、見せ
つけられました。

そして、コロナは一時的に感染者が減ることもありまし
たが、結局は再び広がってきています。北見でも、身近な
ところで感染者が増え、コロナがひたひたと近寄ってきてま
した。

この為、シルバー互助会行事も思うに任せません。今度
こそは、今度こそはと思いつつも、なかなか実施に踏み切
るのは難しい状況です。シルバー人材センターの会員が減
少している中、親睦行事の大切さを痛感しますが、密の状
態にどうしてもなるので、中止せざるを得ませんでした。

現代の科学文明でも対処の難しいコロナは、まるで中世
を思わせるようです。予防ワクチンだけでなく、有効な薬
が一日も早く提供されてほしいものです。

さて、会員の皆様は、それぞれ生き甲斐を持って日々を
送っていると思います。生き甲斐は、仕事であったり、ま
た、趣味にいそしんでいる方もたくさんおられることで
しょう。そして、どんなに小さなことでも構わないので、
「今日行くところが有る」「今日、用事がある」の『キョ
ウヨウ』、『キョウイク』を作っていきましょう。

コロナで大変な状況ですが、出来るだけ、この二つの言
葉を意識して生活を送っていききたいものです。

会員の皆様、今年もよろしく願います。

あけましておめでとうございます

(順不同・敬称略)

互助会役員

会計監事	会計監事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	事務局長	副会長	副会長	会長
長谷川	若原	片岡	伊藤	栗田	高木	松木	川口	宮本	新飯田	熊谷	藤井	十河	暢明
佳衛	秀雄	敏昭	祐二	雅春	英明	征英	昇	勇	俊男	賢一	和三		

新シリーズ 「座右の銘」 第8回 を聞く

人生を支えた言葉

「選んだ道を正解にする…」

9地区監事 佐藤 政代さん

ルーツは秋田

佐藤さんのご両親の出身は、武家屋敷などで有名な秋田県角館。そこから湧別へと住まいを移し、定住する。訳あって小中学校は、祖母の居住する浜佐呂間に通うも、高校は北見に、そして札幌へと進学した。

夢の職場へ

右肩上がり景気の良い時代、札幌中心部にある「有線放送」の会社に就職が決まった。20代の若さもあって、バリバリ



佐藤 政代さん

働きながら学ぶ

そんなある日、偶然読んでいた雑誌の小さな記事に目が留まった。『マッサージの技術』を

身に付けませんか・・・)

すぐに、電話連絡をとった。電話に出たマッサージの先生は、居住地が遠い北海道ということもあり、愛弟子がいる「帯広」での研修を勧めてくれた。

お弁当屋さんで働きながら、一日おきに帯広まで往復し学ぶ。睡眠不足だが、行動のパターンが決まったら、やればやるほど楽しい。忙しい！無茶を楽しんでいた。

1年・・・また1年。睡眠時間3〜4時間の生活が続いた。それゆえ、いつでもどこでも寝られるという特技が身についた。苦学2年、努力を続けた結果、技術が認められ、しっかりと身についた。

ある日突然に

マッサージの技術も生かし、ホテルに就職した。充実した毎日を送っていた。

ある日、横断歩道を渡るうとした時のことだった。足が出ない・・・渡れない。入院。甲状腺の異常による『心不全』と診断された。北見の病院、数力所に診てもらったが、事足らず、

結局、旭川医大病院へ入院する。退院後も、旭川へ通院の日々を、10年送った。年齢は、もう50代後半だった。

新しい仕事を見つかるべく「ハローワーク」を訪れようとした矢先、偶然、元の職場の社長に出合った。社長の「戻って働いたら」の一言で、復帰し、今も仕事を続けている。

シルバーの活動

シルバーも、4〜5年前から始めた。週末の生活支援と学校の施設管理の業務だ。今後の自分の老後を見据えての入会だ。施設に入居した母親、そして家に残された父親の食事の世話をしながら、今も本業のホテル勤務と過密な日々を送っている。

どんと来い!!

「これからも、人の役に立つことをやり続けたい。マッサージの技術も生かして、皆の心や体の疲労を癒していきたい。どんな大変なことでも、どんと来い！」と、力強く語ってくれた。

令和5年 特集

「新年にかける 会員の思い」



11地区
藤野 健一
さん

(1) 家内との旅行です。お互い傘寿に近づき、人生のゴールが頭に浮かぶようになりました。退職して20年、体が言うことを利く間に、夫婦でゆっくり旅を楽しみたいと思っています。

(2) 「書道」(66才からの手習い) : 小さい頃からの憧れ。「少年団活動への応援」: 教職に就いたときの先輩の一言から少年団活動にかかわって、50年が過ぎました。先輩の一言「教育は、学校だけではできない。地域の力を借りること



4地区
平野 芳雄
さん

が大切。積極的に地域とかかわり、いろいろなことを学びなさい」(社会教育への参加)

(3) たまたま、サンライフで少年団活動があったとき、お世話になった先輩と出会い、入会を勧められた。最初は「引越しの後の片付け」、次に「ラルズマート高栄店」、今は「サンライフ北見」です。

(1) 今年は、7回目の年男。何といても『野球』にかかわることです。少年野球から始め

皆さんに抱負などを聞いてみました!

- (1) 新しい年をむかえて、一番やりたいことは、なんですか?
- (2) あなたが、「趣味」として楽しんでいることは、なんですか?
- (3) 北見シルバー人材センターに入会したきっかけは、なんですか?

て、今年で75年。特に、60歳からの「還暦野球」、70歳からの「古希野球」、そして現在は古希野球に所属しながら、80歳以上で構成される「傘寿野球」(帯広・北見・網走・遠軽連合) : 『北勝スターズ』のチームで活動中です。昨年の全道大会に続く2連覇の夢を実現したいと思います。さらには、母校(北見柏陽高校)野球部OBの一員として、高校球児の頂点でもある甲子園への2度目の出場を実現させるべく、大きな声援と支援に協力しようと思います。

- (2) 数多くありますが、現在継続していることは、「野球」「パソコン」「溪流釣り」です。
- (3) 平成18年3月、屋内体育館で

野球のトレーニング中、元事務局長であった杉本さんからの誘いで入会しました。入会前段での詳細な説明により、納得しての入会でした。これまでの16年間はとても楽しく充実し、そして楽しく「自主・自立」「共働・共助」の精神で過ごしてきました。身体が続く限り、20年間の勤めが実現できればと思います。高齢者同士の共助で、冬期間の「除雪事業」、微々たる力ですが、いわゆる『老々除雪』にも頑張ります。





9地区
現田 信一
さん

(1) 今年こそ、新型コロナウィルスが終息して、通常の生活が戻り、行動範囲が自由になるように…。健康で仕事と趣味が両立できるように…。飛躍の年にしたい。

(2) ボランティア活動。旅行。カラオケ。

(3) 定年後、七地区の前田邦男地区長の紹介で入会しました。8年目になります。健康に留意し、体力が続く限り頑張っていきたいと思っています。

知っていましたので、自分ができることがあればと、定年後の入会を決めていました。



3地区
中村 智
さん

(1) 最近思うのは、車で「ぼっちキャンプ」をしながら、北海道の海岸線の一周の旅です。道南方面、松前・函館・白老のウポポイとか観たいです。

(2) 過去40年間、インドア、アウトドアと多趣味でした。60歳を過ぎてから仕事が忙しくなり、できなくなりました。特に、登山は熊が多く出没するので、止めました。夜な夜な街へ行き、好きなお酒を呑み、カラオケなど楽しんでいきます。また、最近、本を読むようになりました。その結果、健康で長生きになったかな？

(3) 年金を貰いながら、仕事もするの夢でした。平日は、まだ仕事をしています。シル



10地区
今井 健司
さん

(1) 今年、是非、海外旅行を実現したいと思っています。コロナ禍の前は、毎年一度海外へ行っていました。が、ここ4年ほど残念ながら取りやめていました。

(2) 定年後、何か趣味として運動したいと思っていたところ、妻から社交ダンスを覚えたいという話がありました。早速、市で募集していた「市民講座」に申し込みました。しかし、コロナ禍の為、現在は中止しています。

(3) 市の「広報きたみ」を見ていた折に、シルバー人材センターの記事を見ました。ちょうどタイミングの良い状況でしたので入会手続きをしました。



5地区
工藤 秀治
さん

(1) 旅行です。ね。「旅行支援」で全国的に旅行客が増えていますが、感染リスクが高まり、不安です。コロナ禍が落ち着いたら、出かけたくなります。

(2) ゴルフを楽しんでいます。下手の横好きですが、年30回位、ラウンドしています。

(3) シルバー人材センターの事は



2地区
角田 正登
さん

バーの仕事は、土曜日の「施設管理」です。入会のきっかけは、正直「お金」です。今年もよろしくお願いします。

(1) 日ハム新球場で、キツネダンスを踊りたい。また、エンゼルスタジアムで希代の二刀流を応援したい。

(2) きつと、生涯見ることのできる大谷翔平の全力プレーに感動し、活力を与えられています。

(3) 退職後、認知におとろえを感じていた頃、伝書鳩の求人広告に触発されました。



全国シルバーの日 市民に向け宣伝活動を実施

シルバーの事業をPR 10月16日(日)

肌寒くも快晴のこの日、「全国シルバーの日」に合わせて、大矢根理事長をはじめ各役員と事務職員がアークス桜町店と駅前広場(菊まつり展示場)の2会場に分かれてPR活動を実施した。両会場では「きょうはシルバーの日」の旗を立て、ティッシュ入りのパンフレットを市民

に手渡ししながら、「シルバーの仕事の紹介や会員入会」を大きな声でPRをしていた。

アークス桜町店では、女性客が「剪定と除雪を頼みたいが何処に連絡をしたらいいのか」の問いに電話番号等を教えていた。また、「剪定を頼みたいが」との来店客や、音更からバスで



アークス桜町店でのPR



「シルバー事業を利用ください」



北見駅前広場でのPR

来たという女性グループは「帯広でもシルバーの利用者は多いんですよ」と、認知度や活動の成果を実感した。準備していたパンフレット250枚は一時間ほどで全て配布を終えた。

一方、北見菊まつり会場前と駅プロムナードやハロウィーン会場では、天気も良いこともあってか人も多く、「シルバー人材センターです。ご利用のほどよろしくお願いたします。」と忙しく声掛けしていた。

ここで用意した250枚のパンフレットも、短時間で配布を完了した。



駅プロムナードとハロウィーン広場のチラシ配布

この前日の15日は、約720名のシルバー会員も自宅近隣でパンフレット配布(二人2件)を行い、宣伝活動に参加した。今回も、これからのシルバー事業の拡大につながる有意義な一日となった。



コミュニティ センター 西地区公民館

苦にならず続けられた仕事

飯田美枝子さん

(9地区1班)

朝晩が冷え込んできた霜降の10月下旬、西地区公民館で清掃をされている飯田美枝子さんを訪ね、仕事の様子や日常のお話を伺いました。

ここは老朽化に伴い、今春、「働く婦人の家」を集約して新築オープンした2階建ての洒落た建物です。訪問した午前中で



飯田美枝子さん

も利用者の出入

りが多く、行き

交う人の中で掃

除をしている飯

田さんを見つ

け、一通り作業を終えた後、綺麗なロビーで面会しました。

この公民館には昨年4月か

ら、佐々木美津子さんと2人で

働き始め、大きい新館になって

からは、鍋島貴美子さんも加わ

り3人体制になったそうです。

朝7時から11時まで5日間交代

のシフトを組み、清掃に当たり

ます。研修室や調理室、陶芸室

など8部屋のほか事務所、玄関、

階段やフロアー、1、2階の一

般トイレと多目的トイレ、手す

りの果てまで場所に応じて、掃

除機やモップ、タオルなどで清

掃します。

「机や椅子などの他、スリッ

パ100足もすべてアルコール

消毒で拭き掃除をするんです。」

一緒に見て回りましたが、建

物の広さと部屋数だけでも大変

な労働だと感じました。

前日使用した部屋と今日使う

部屋を先に手掛けるが、開館の

9時から使う部屋が2、3ヶ所

ある時は間に合わせるため忙し

くなり、時には少し早めに掃除

を始める事があるそうです。

「新しくきれいな施設なので、

気持ちよく使ってもらうため汚

れを残さないよう、特に水回り

のトイレや調理室、陶芸室の掃

除は気を付けています。また時

間が少し空いたときはガラス拭

きや草取りをしています。」



研修室は5ヶ所あります

飯田さんは若くしてご主人に

先立たれ、60歳定年まで事務仕

事をしながら2人の娘さんを育

て上げました。定年後は今まで

お世話になった社会に少しでも

貢献出来ればと、健康維持も兼

ねハローワークで当センターを

紹介され、平成14年に入会し今

年で21年目になるそうです。

サンライフ北見などで長年、

清掃の仕事をしてきましたが、

その間、掛け持ちで幼稚園や個

人住宅などの清掃、ガラス拭き、

草取りなど…。他にも事務の仕

事やお墓の掃除と、様々な仕事

に従事してきました。

「働きずくめだったので、仕

事は苦に思いませんし、手を抜

くということが出来ないんで

す。先日、80歳になりました：

今まで続けてこれたのは事務所

の皆さんや、周りの方々のお陰

です。」

普段は読書、他に家族旅行や

友人との食事が楽しみとのこと。

互助会「椿の会」では仲間と奉

仕活動をしており、家でも色々

と忙しい毎日だそうです。

声に張りがあつて、軽やかな

動作に驚いたのと同時に、家で

もテキパキとこなす姿が想像さ

れました。

懐かしいあの味ー
思い出の味 IV
進 敬 (2地区3班)

11、12歳 (昭和27、28年)

5年生の時、我が家には戦後の農地改革で払い下げられた農地が川東8号線の奥に1町歩ほどあった。戦後の食糧難時代にこの畑から採れたジャガイモ・カボチャ・トウキビ・小麦等で耐え忍んだのであった。兄弟姉妹7人のうち中学生以上の姉兄たちが、休みの日よく畑仕事を手伝わされていた。あまり戦力にならない小学生は、いつも畑や近くの野山で遊びほうけるのが常だった。

5月の植え付け時、畑の中に営巣するヒバリの卵を観察したり、出土する黒曜石の矢じり探りに夢中になった。6月には、畑に点在した桑の木の実を食した。実は最初白、次に赤、熟れ

たら黒紫に変化した。味は甘酸っぱく、口の中で果汁が広がり、口の周りに付くので、食べるとすぐ仕事をさぼったことがばれた。7月末に農家のあちらこちらに植えてある「グスベリ」を採って酸っぱいのを我慢して食し、親に腹をこわすと叱られ、8月にはスモモの木から実を長い棒で落として食した。

虫食いが多かったが、ほのかな甘みがなんともいえなかった。9月末、近くの山々は少しずつ紅葉し、山ぶどう、コクワのシーズン到来だ。とにかく腕白だったので、どんな木でも登ることができると自信があり、手籠を背負い、ぶどうやコクワのつるを猿のように伝いわたたりながら沢山収穫した。山ぶどうは食べ過ぎると酸で舌が荒れた。熟れていない硬いコクワを食べると「糞詰まりを起こすぞ」とよく脅かされたものだった。

自然の多かった5年生時代、野山には、四季折々に懐かしの味がごろごろしていたのであった。



6年生の12月20日は我が家の

恒例の正月に向けての餅つきの日であった。当時はどこの家庭でも正月に向けての餅つきは当たり前前で、臼と杵は家庭での必需品だった。裕福ではなかったが、正月だけは豪勢に大量の餅をついた。記憶では、つまり1俵(60kg)の餅米を前日に一斗樽4個でうるかし、当日、親戚の叔父・叔母、全員が外で2升5合(3、75kg)入りの蒸籠2基を薪ストーブで蒸かし、蒸かし上がった餅米を男たちが杵で、女たちがあいどりに、次々とついていった。朝6時から夜の8時過ぎまでに、16臼の餅がつきあがった。当時の懐か



しい味の1番目は、蒸かしあがった餅米をそのままお皿に貰って少し塩をかけて食することだった。味はしろい赤飯だった。2番目は、あんこ玉を入れたあんこ餅だった。3番目は、納豆を解いたボールのなかにつきたてをちぎって入れた納豆餅、4番目は黒豆の入った塩気の効いた豆餅、5番目は元旦に食べるお雑煮の味だった。家の臼は、石の臼で当時でもめずらしかったが、杵でつくるとしっかりとした餅ができると評判だった。70年近くの月日が流れ、正月への餅つきがほとんどなくなり、市販の切り餅が多くを占めている。つきたて餅の懐かしい味が失われていくのが残念に思う。



昨年1月の掲載に続き、今回も2点ほど便利な使い方を取り上げてみました。

スマホで支払いする！ 「auペイを使ってみた」

これまでは、財布と小銭入れを持ってスーパーやコンビニで買い物をしましたが、今はスマホ支払いが出来るようになりました：とても便利です。

まずスマホに、上のauペイアプリ（応用機能）を取り込み



ます。次にコンビニのATMで現金を入れて、このアプリの現金残高にします。買い物をした代金は、レジで下の残高画面を店員に見せて、引き去りしてもらうだけ。よかったら使ってみてください。

ユーチューブを「見たり、 聴いたり、学習したり」



この、アプリ（無料動画配信SV）の利用者は数

知れず：私もその一人で、夜は、床に入ってナツメロを聴いたり、古い映画を見たり、朗読を聴きながら寝入ってしまいます：CMが余計だが、仕方ありません。他に無線イヤホンで聴いたり、テレビや車にもつなげる事が出来ます。

昨年にコンクリート平板を作ってみました：全てユーチューブにやり方が載っていて、すごく便利でした。

あらゆる分野の視聴・投稿が出来ますが、ひどい物もあるので注意して楽しみましょう。

音楽の広場

音楽に関する思い出や 逸話をお寄せください

小学4年の頃、従兄に連れられ、赤木圭一郎の映画を観に行きました。拳銃の打ち合いでは、テレビや劇場で見る物より迫力があって興奮したものです。キャバレーの場面もあり、バックバンドでダンサーが踊っていたが、その演奏がジャズやラテン音楽だったと思います。

従兄は馬小屋で世話をしながら、「山の煙」や「おんな船頭唄」など、歌謡曲をよく歌ってました。昭和35年頃のことです。今月号に音楽関係の記事を載せてみました。

普段は自然と耳に入ってくるのですが、たまに自分から聴き入ったり、歌ったり、楽器を演奏したりすることもあります。人生の節目や出来事には、思い出される曲があ

ると思えます。また、音楽に携わっていたことや、今も活動しているなど。そんな会員の皆さんから、お話を伺ったり原稿を寄せてもらって、記事に出来たらと考えております。実際、音楽好きは身近にいるもので、同じ広報委員の田中さんが、フオークギターを嗜み、

また「刈り払い機講習会」の講師、伊藤さんも、洋楽のギターをかき鳴らしていたそうです。かく言う私も、たまにギターをポロンポロンと。まずは3人で音合わせでも！

他に、ピアノやバイオリン、管楽器や和楽器などを経験されている方もいると思います。懐かしい思い出や活躍のお話をお待ちしています。（広報 山口）

二人にちほ

シルバー事務局です

常務理事
事務局長 中 寛良

会員の皆さん、関係各位の皆様、新年明けましておめでとうございませう。健やかで輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

さて、コロナ禍から3年が過ぎ、この間センター事業に及ぼす影響は大きなものがありますが、会員の真摯で前向きな姿勢と、お客様の協力により事業実績は徐々に回復に向かっております。シルバー会員が、元気で社会の中で活躍、貢献できる土壌づくりをセンターの使命として、また「人生60歳からがオモシロイ！」と感じられる生きがいづくりを目指して、職員一同今後とも事業の推進に取り組んで参ります。会員の皆様には体調管理に十分配慮し、健康で元気な一年になるよう共に頑張りましょう。



事務局職員紹介

事務局長	中 寛良
総務課長	大武 利章
総務課主任	蓑島久美子
総務課主任	松本絵理子
事務局次長	柳田 隆一
業務課長	松本 精弘
業務課主任	南保 稔
業務課主任	川原 望
業務課主任	橋本さおり
(留辺薬支所)	
業務課主任	西田 越
(常呂支所)	
業務課主任	栗木 憲康



編集後記

人々の社会生活に挑戦するように 猛威をふるう新型コロナは4年目を迎えた。北海道では罹患者が全国一の日々が続き心配が増えた。政府は第8波に備えた2段階の対策強化策を決定した。外出自粛を要請する「対策強化宣言」、さらに状況が改善されない場合、帰省や旅行などの自粛を求める「医療非常事態宣言」だ。新しい年の始まりにはコロナに対する政府の宣言は出ない方がいいのだが。広報誌第138号を発行するにあたり、原稿や写真をお寄せ下さった皆様に心より感謝申し上げます。今年もより良い広報誌にするためご意見や記事提供をさらにお願ひします。

兔年にちなんでの決意

う きあし(浮足) 立たず
さ つそう(颯爽) と
ぎ ラギラした情熱を持ち
し んな困難にもめげず
ど んか(進化) 続ける
 活動をめざしたい

広報委員一同